

一般質問 おくの 晋治 議員 (共産)



放射2号線は断念を

来年度で整備目標期限を迎える放射2号線は、これを機に廃止するように東京都に求めるべき。

整備の中止を求める考えはない。

放射2号線のための買収地は公園など区民のために活用するよう東京都と交渉していただきたい。

道路整備に着手するまでの間ではあるが、地域からの活用要望を引き続き都へ伝えていく。

深刻な地球規模での気候変動、2050年「実質ゼロ」へ

2050年までに温室効果ガス実質ゼロが必要。国に、温室効果ガス削減目標の上乗せ・取組強化を求めるべき。

国は温室効果ガス削減に関する長期戦略に、今後情勢を踏まえて検討を追加するとしており、区も必

要に応じた対応を行っていく。教員の長時間労働を固定化する変形労働制の導入はやめよ

教員の多忙化は依然として社会問題。先生たちはこれだけ働いても、授業準備、子どもと触れ合う時間が取れないでいる。この状況を固定化するのが昨年国が定めた教員への変形労働制導入。教員への変形労働制導入はやめるべき。

国や都の動きに合わせて必要な条例等の制定を行う。

消費税10%は区民の暮らしと営業を壊す。緊急に5%への減税を、

区民生活を応援する政策を

国に消費税を5%に戻す減税を求めるよう求める。

国に減税を求める考えはない。地方自治体として独自に区民の暮らしを応援する政策を執行するべき。学校給食費の無償化、子どもの

の国保料無料化、70歳以上の高齢者の医療費窓口負担を、現役並み所得者を含めて1割負担することを求める。

学校給食法において、食材費は保護者の負担とされている。子ども

一般質問 せお 麻里 議員 (自・無)



児童発達支援センターについて

きょうだいも付き添えるよう環境を整備すべき。

どのような支援ができるか調査研究する。

保育所等訪問支援制度の教職員の理解と、扱う事業所の増設は？

巡回相談を実施している。事業所の積極的誘致を図りたい。

小山台に児童発達支援センターを建設する予定だが、現在の課題を抽出し児童発達支援の在り方を含め今後の計画を。

既存施設の現状等を踏まえ必要なサービスを検討する。

短時間の働き方を奨励し人材を広く確保すべき。

就労形態も含め、事業者の意見を聴きながら人材の確保方を検討。障がい児者福祉の支援の充実

一般質問 小芝 新 議員 (自民)



教育について

学力定着の観点から、単元テストの積み重ねを成績評価基準の中心に見据えた改革を検討すべきと考えるが、区の見解は。

教育委員会として、必要に応じて回数を変えるなど定期考査の在り方も含め学校が柔軟に教育課程を編成することができるよう指導している。

奪われた領土の教育を通じて、国民主権を担う公民が育っていくと考える。領土教育の質を高めていくべきと考えるが、見解は。

今回の学習指導要領の改訂を受けて、平和的な手段による解決について、児童・生徒が主体的に考えられるよう指導の充実を図っていく。

多摩川氾濫の場合、南大井一帯と東大井二丁目の一部が浸水すると想定されている。土嚢の設置場所や数について、区の対策は。

台風19号の教訓を受けて、立会川周辺を中心に約1千袋の土嚢を追加配備した。南大井地区には今年5月頃までに土嚢置場を増設し、約400袋を追加配備していく。

東京2020大会について

品川の魅力である、御神輿、お囃子、太鼓等の伝統文化を披露できる場所、時を設定して頂きたい。区の取り組みは。

組織委員会や都に区内活動団体の出演機会の提供を要望してきた。今後も引き続き調整を図っていく。

人権について

北朝鮮による横田めぐみさん(かつて大井6丁目在住)の拉致事件を扱ったアニメ「めぐみ」の区内学校における視聴状況と今後の取り組みへの考えは。

アニメ「めぐみ」はこれまで21校で視聴された。視聴予定が14校。拉致事件は人間の尊厳、人権及び基本的自由の重大かつ明白な侵害であると認識している。今後も人権尊重思想の普及啓発と教育を推進していく。

一般質問 つる 伸一郎 議員 (公明)



子どもたちの安全・安心について

2018年の決算特別委員会で、児童の登下校やすまいるスクールでの入退室の管理をし、保護者にメールが届く仕組みを提案していたが、「すまいるスクール入退室および参加状況管理等システム」愛称「すまっぴ」が導入された。仕組みや今後の展開は。

ICチップをリーダーにかざし、児童の出欠状況を確認に管理できるシステム。入退室の情報は保護者に通知され、お子様の安否が確認できる。メール配信も行い、緊急時の連絡も迅速化される。

2018年の決算特別委員会でも提案したが、総合行政ネットワークFLG W A Nを活用したクラウド型地図アプリを導入し、通学路の安全・安心対策や防災などにも活

用しては。2020年度、クラウド型の統合型地理情報システムを導入する予定。全庁的なデータ共有が可能で、複数の情報を同一地図上に可視化できる。スマートフォンなどで視覚的に交通安全や防犯、防災に関する地図情報を区民が確認できるように。

持続可能な開発目標(SDGs)について ①SDGsの取り組みを示すために、フェアトレード商品であるバナナペーパーの活用を提案してきたが、環境活動に貢献のあった企業・団体の表彰状に活用されると伺った。今後の活用は。②7月からレジ袋の有料化が実施されるが、エコバッグを配布して、マイバッグ持参の習慣化を推進しては。

①計画中の環境学習交流施設での配布物や物品など、効果的な場での活用を検討する。②マイバッグを製作・配布する予算を計上しており、使い捨てレジ袋の使用削減につながるよう啓発していく。

「その他の質問」 ・平和の文化薫る品川区について ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について ・健康について